

参加者募集

子どもたちを対象とした自律型ロボットの世界的競技会「ロボカップジュニア」。その予選大会である「大垣ノード大会（地区大会）」を平成31年1月13日（日）に開催します。

そこで、同大会の出場に向けたサッカー競技（ビギナーズ）のロボカップジュニア集中講座を開催します。

- ◆対象／市内の小学4年生～中学生で大垣ノード大会に出場できる人
- ◆とき・内容／右表のとおり
- ◆ところ／情報工房2階多目的研修室
- ◆参加料／2,500円（大会出場のキット代込み）



サッカー競技のロボットキット

- ◆定員／各コース20人（抽選）
- ◆申込／10月24日の午後3時までに、ロボカップジュニア大垣ノード事務局HPから申込
- ◆問合せ／同事務局（G・I・NET内、☎74-8861）へ



集中講座・大垣ノード大会申込HP

集中講座

ロボカップジュニア

大垣ノード大会の出場者募集!!

- 対象／19歳以下で、他のノードにエントリーしていない人
- とき／平成31年1月13日（日）
- ところ／情報工房
- 競技種目／対戦型「サッカー競技」（ビギナーズ）
- 申込／平成31年1月5日までに、同事務局HPから申込
- 問合せ／同事務局（G・I・NET内、☎74-8861）へ



過去の日本大会の試合の様子

コース	とき	内容
スタートアップ講座（各コース2回） ※参加必須		
Aコース	11月3・24日	9:00～16:00
Bコース	11月17日、12月1日	9:00～16:00
フォローアップ講座（各コース3回） ※参加任意		
Aコース	12月8・15日	9:00～12:00
Bコース	平成31年1月5日	13:00～16:00
		競技会形式の実践練習

宿場町の景観を味わう

大垣は交通の要所であり、昔から多くの宿場が栄えてきました。大垣市上石津町にある九里半街道牧田宿は、中山道の関ヶ原宿へ1里、今須宿へ2里、濃洲三湊まで3里の距離にある中継点として、江戸時代まで繁栄していました。今回はそんな九里半街道牧田宿近辺の景観遺産を紹介します。

大垣市景観遺産を募集!!

- ▶応募方法／市役所や各市民サービスセンターなどで配布の応募用紙に必要事項を記入し、都市計画課（〒503-8601 丸の内2-29、FAX81-4869）へ ※市HPからも応募可
- ▶問合せ／同課（☎47-8694）へ



応募HP

上石津町牧田地域の常夜燈群

常夜燈はお参りが困難な神社・寺院に献灯し祈りをささげる対象として、個人の寄進で辻や道ばたに奉納されたものです。牧田地域の九里半街道沿いには、今も多くの常夜燈が残っています。特に上野地区の常夜燈は、天保12年（1841年）に建立されたもので、高さが約4mもあり、見るものを圧倒します。



牧田川用水頭首工

牧田川から田に水を採り入れるための堰として、昭和9年（1934年）に完成しました。長さ約200m、高さ1.8mで、鉄筋コンクリートウィル基礎の構造をもち、地元では「広瀬ダム」と呼ばれ親しまれています。



藤古川萩原橋付近から見た伊吹山

上石津町萩原地区から眺めた伊吹山の風景です。この地域は、「伊吹おろし」の通り道となっており、昔から冬期に冷たい風と大雪に見舞われてきました。しかし、そのような厳しい一面を持つだけでなく、地元の人々は山にかかる雲の様子などを眺めて天気を判断し、農作業をするなど、古くから地域の生活に恩恵をもたらしてきました。



五井家と九里半街道

九里半街道は、養老町の船付湊から滋賀県の琵琶湖のほとりの朝妻湊までの約38kmの街道です。五井家はこの街道沿いの中継点にあり、代々牧田宿の間屋を営んできました。明治時代には、三代に渡り郵便局長を務め、敷地内には現在も局舎が残されています。この建物は昭和40年代まで使用され、この辺りでは江戸時代から昭和にかけての風情を感じることができます。



善性寺の全景

善性寺は、元文元年（1736年）九世浄華の時に現在地に移転し、現本堂が建立されました。その本堂をはじめ、塀・山門・鐘堂・庫裏など境内の建物が一式で残り、牧田地域の集落景観の核となっています。山門・鐘堂は堂々として実に荘厳であり、また、南から見た境内の全景は、なまこ壁や白壁の塀・石垣が映え、背後の山なみと調和した山里の寺院として美しい姿を見せてくれます。

